消費者ニーズや販売先等

【ちぢみほうれんそう（寒締め）】

- 道北アークスや旭川市内イオン、どさんこプラザ羽田空港店に出荷。
- 本年 11 作目であるが、他産地でも寒締めほうれんそうの作付けが進んでいることや、11 ～ 12 月は府県からの安価なほうれんそうの入荷があることから、３年前くらいから出荷量の制限がある。年明けの出荷は順調。

【ケール】

- 直売所やレストランなどに出荷。レストランはサラダ用に好評。

その他

【生産者】

- 冬期間に出荷する品目として、雪の下にんじんと、雪の下ブロッコリーにも取り組んでいる。
- ケールについては、ほうれんそうより寒さに強くないと感じており、できれば年内に出荷したい。
- 栄養成分の測定や差別化販売について検討中。

問い合わせ先

株式会社 MORIYA

〒 078-8203 旭川市東旭川町日ノ出 284　TEL：090-3110-1802
（守屋代表取締役直通）

ちぢみほうれんそう（寒締め）
ケール（カリーノケール）

馬場農園（旭川市）

産地や産品の特徴

- ちぢみほうれんそう（寒締め）：糖度は約 10 度にも。生食 OK。個人出荷及び個選共販（JA 東旭川）。FG 包装。
- ケール:寒さに当たり甘く育つ。全く苦み無し。FG 包装や大きな袋詰め。

耕種概要

【共通】

- 経営形態：水稲＋施設野菜
- ハウス面積：間口 6.3m ×奥行 50m × 7 棟、間口 7.2m × 16m × 1 棟
- 作付け品目：寒締めほうれんそう、ケール、ラディッシュ、ミニはくさい、パクチー
- 土質：褐色低地土
- 施肥：N 4 ～ 5、P 4 ～ 5、K 2 ～ 2.5kg/10a
- 穴開きマルチ使用（透明）
- は種：ペーパーポット使用（406 穴）
- 前作：ラディッシュ（夏のハウス作付けは、すべてラディッシュ）

【ちぢみほうれんそう（寒締め）】

- 品種：冬霧 7
- 畦幅、株間（10a 当たり株数）：15cm × 15cm（44,444 株 /10a）
- 穴開きマルチ使用：厚さ 0.03mm
- は種：ペーパーポット使用（406 穴）

【ケール】

- 品種：カリーノケールＣＧ、カリーノケールヴェルデ
- 畦幅、株間（10a 当たり株数）
  60cm × 60cm 及び 30cm × 30cm（2,777、11,111 株 /10a）

収量や品質の目標

【ちぢみほうれんそう（寒締め）】

- 12 月始め～２月中旬に約 1,500kg/10a（時期は年により変動）

【共通】

- 葉を肉厚にし、強烈な寒さの影響による傷みを極力減らす。
  出荷時期は 12 月始め～２月中旬（年により変動）

栽培カレンダー

ちぢみほうれんそう（寒締め）

月	8			9			10			11			12			1			2			3		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業				●……		▲							□……								□			

は種：●、定植：▲、収穫：□

ケール（カリーノケール）

月	8			9			10			11			12			1			2			3		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業				●……		▲							□……								□			

は種：●、定植：▲、収穫：□

ハウスの仕様

ハウス外観
天張り：農 PO（0.1mm）

内張 1 重
カーテン：農 PO（0.075mm）

生育状況

寒締めほうれんそう
11 月上旬

ケール
11 月上旬

病害虫対策

- 病害：特になし
- 虫害：アブラムシ類、ハモグリバエ類、鱗翅目幼虫
- 耕種的防除：雑草防除
- 化学的防除
  寒締めほうれんそう：栽培期間中農薬不使用（出荷者で協議し実施）
  ケール：定植時に１回

栽培や作業のポイント

- 寒締めほうれんそうのは種はペーパーポット（406 穴）を使用し、発芽を安定化。また、穴あきマルチを使用することで、収穫時の土砂混入防止につなげている。
- 寒締めほうれんそうは、成長し大きくなる時期が限られているので、出荷規格に近くなったら、寒さにさらすためハウスを開放する。
- 適度な大きさに育てるためには、定植時期が重要である。
- 厳寒時や大雪対策として、ジェットヒーターも使用することがある。
- ケールは、栽培年数が少なく、栽培方法など検討が必要である。
- 内張りの厚さ等にこだわりはなく、天張りの古くなったものを使用している。３～５層といった多層にはせず、２層でやれる分だけの考え。
- ミニはくさいについては、厳冬期にトンネルの使用を検討中。

冬の栽培に取り組んだ経過や考え方

- 労働力は、夫婦２人のほか、２名を雇用しており、雇用者の仕事を確保するとともに、農外に仕事に行かなくてもよいように冬の栽培に取り組んでいる。
- 冬期間に農外に仕事に行くのと同程度の収入が得られればよいと考えている。

消費者ニーズや販売先等

【ちぢみほうれんそう（寒締め）】

- 市内小売店、道北アークスなど。

【ケール】

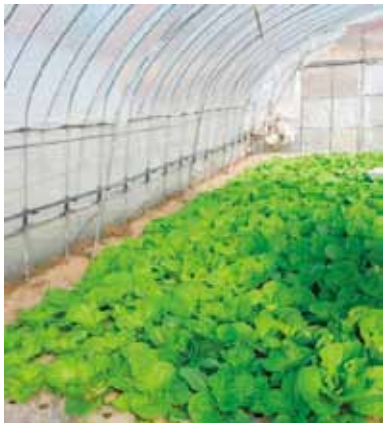
- 直売所やレストランなど

市内小売店での販売

出荷 FG フィルム（共販）

その他

- その他冬期間に出荷する品目として、ミニはくさい、パクチーにも取り組んでいる。
- 水稲の育苗は中苗で行っており、育苗期間中の農薬は不使用のため、水稲苗の移植終了次第、すぐに野菜を作付けしている。
- 夏場のハウスはラディッシュのみ。



ミニはくさい（11 月上旬）

問い合わせ先

馬場農園

〒 078-1273 旭川市東旭川町米原 1608-1　TEL：080-8024-4261
（馬場美咲恵様直通）

各種葉菜類

（株）百商屋（美深町）

産地や産品の特徴

- 「深雪野菜」（ふかゆきやさい）のネーミングで、わかりやすく冬野菜の魅力を発信。
- ほうれんそう：甘くておいしい
- レタス類：苦みがなくておいしい
- 香味野菜：においがやわらぎ食べやすい
- 栽培品目
  リーフレタス、サニーレタス、チャオチャオ、バターレタス、
  パリグリーン、ハンサムグリーン、はくさい、わさび菜、かつお菜、
  こまつな、ルッコラ、ケール、ほうれんそう、スイスチャード、
  ちんげんさい、みずな、パクチー、しゅんぎく、サラダしゅんぎく

耕種概要

- 経営形態：水稲＋畑作＋露地・施設野菜
- ハウス面積：間口 6.5m ×奥行 30m ×２棟
- 土質：褐色低地土
- 施肥：土壌診断による（例：はくさい：N17kg/10a）
- 品種：冬霧７（ほうれんそう）ほか
- 畦幅、株間（10a 当たり株数）
  15cm × 15cm 又は 25cm × 25cm（44,444、16,000 株 /10a）
  ※品目による
- 穴開きマルチ使用（黒）
  は種時寒冷紗被覆：35%（黒）、50%（白）
  ８月下旬～ 10 月中旬
- は種方法
  ほうれんそう：直播、１cm 深
  苗もの：72 又は 128 穴セルトレイ使用。
- 前作：スイートコーン等

収量や品質の目標

- 各品目株数の 70%以上出荷を目標。

栽培カレンダー

各種葉菜類

月	8			9			10			11			12			1			2			3		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業			●			▲			□	·····	·····	·····	·····	·····	·····	·····	·····	□						

は種：●、定植：▲、収穫：□（品目により、10月下旬～12月末まで、11月上旬～1月下旬まで）

ハウスの仕様

ハウス外観
天張り：農 PO・空気膜（二重）
（外側：0.15mm、内側 0.1mm）

内側ハウス：0.075mm
トンネル一重:0.075mm(撮影時未設置)
不織布によるトンネル

生育状況

葉物類
10月下旬

ちんげんさい
10月下旬

病害虫対策

- 病害：特になし
- 虫害：ナメクジ、コオロギ、アブラムシ類
- 耕種的防除：雑草防除
- 化学的防除：発生状況に応じて、初期防除

栽培や作業のポイント

- ８月上旬に、土壌還元消毒を実施。
- ８月末には種している。かぼちゃともち米の収穫時期と重なるので、その前には種。遅れると天気により全く育たないときがある。
- 毎年天候が異なるので、同じ時期には種しても同じにはならない。本当は、は種時期をずらして作りたいが、他の作物の作業があってできないので、セルトレイの大きさを変えて、大きいものは後に定植するなど工夫している。
- マルチは、黒（穴あき）を使用。以前は白（半透明）を使用していたが、雑草が繁茂するため、黒に変更した。しかし、黒はナメクジが見つけにくいことが難点。
- マルチは、穴あきでないと定植に時間がかかる。25 × 25cm と 15 × 15cm の７穴で、千鳥で植えたり、２本植えて１本開けるなどして株間を調整している。
- 冬季の収穫は、外気温が −25℃などに下がるときもあるが、日が差してから収穫する。凍っていても日が差すと復活してくる。凍って収穫できないというようなことはない。
- 出荷の前日に収穫することとしている。

冬の栽培に取り組んだ経過や考え方

- 自身（経営主の妻）は、平成 28 年から営農に携わるようになった。美深町の実施する、若手農業者や農業後継者等を対象とした「美深町農業支援塾」に参加し、上川農業試験場での冬季無加温栽培を見学。冬でも青々と野菜が生育している様子を見て、自分でも取り組んでみたいと思った。
- 冬場は、男性社員は皆、除雪作業に行ってしまうが、自分は行けないのと、農業が好きなので、冬でも農作業をしたいことから取り組んだ。

（続き）

- 平成 28 ～ 30 年度の 3 年間、「美深町冬期無加温ハウス栽培研究会」を立ち上げて、町農業振興センターのハウス内で試験栽培を実施。
- 令和 2 年に自社にハウスを 1 棟設置し、栽培に取り組む。令和 4 年にハウスを増設（20m → 30m）、令和 6 年に 1 棟増棟。

消費者ニーズや販売先等

- 直接販売：自宅直売所、JR 美深駅、道の駅・びふか
- 稚内市：相沢食料百貨店

直売所＆カフェ（令和 4 年度～）

- 「深雪野菜」の名称は、平成 30 年にテレビ番組に取り上げられた際、「無加温ハウス栽培」という言葉はわかりにくいので、自分たちの名前を付けてはどうかとのアドバイスから、仲間と考案した。
- 旭川市など、南の方ではすでに無加温栽培を行っている生産者がいることから、北の方が喜ばれるのではないかと考えたことから、稚内市での販売に繋がっている。

商品パッケージ
（画像：（株）百商屋 HP より）

問い合わせ先

株式会社百商屋

〒 098-2205 中川郡美深町字美深 382　TEL：01656-2-3478

ちぢみほうれんそう（寒締め・冷凍加工用）

きたみらい農業協同組合

【生産者事例：川尻 将士 氏（北見市）】

産地や産品の特徴

- 糖度８度以上、ルティン高含量の冷凍商品としてブランド化
- 冷凍加工用途向け栽培導入による作業負担軽減の実現

耕種概要

- 経営形態：野菜専業
- ハウス面積（ほうれんそう）：間口 6.3m ×奥行 100m × 1 棟
- 土質：低地土
- 施肥：S604（16-10-14）　40kg/10a、炭カル 40kg/10a
- 品種：雪美菜 02
- 畦幅、株間（10a 当たり株数）：20cm × 12cm（41,666 株 /10a）
- は種方法：シーダーテープ
- は種日：９月８日
- 前作：メロン

収量や品質の目標

- 基準収量：11 月下旬～ 12 月下旬　600kg/100 坪（加工向け）
- 品質目標：糖度　８℃以上
  草高　刈取り部から 10cm 以上（上限なし）

栽培カレンダー

ちぢみほうれんそう（寒締め・冷凍加工用）

月	8			9			10			11			12			1			2			3		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業				●…●						△			□……□											

は種：●、寒締開始：△、収穫：□

ハウスの仕様

ハウス外観
天張り：農 PO（0.1mm）

ハウス内観

生育状況

10 月中旬

11 月中旬

11 月下旬（出荷時）

収穫作業

鮮度保持袋による出荷

病害虫対策

- 病害：べと病
- 虫害：アブラムシ類、ケナガコナダニ、
  ヨトウガ、カタツムリ、ナメクジ
- 耕種的防除：抵抗性品種利用
  化学的防除：予察による農薬防除

カタツムリの食害

栽培や作業のポイント

【は種前のほ場づくり】

- メロン収穫後８月上旬、石灰施用による土壌改良実施する。
- は種前には１時間程度かん水実施し、ほ場に入れるようになったら施肥、ロータリーによる整地後には種実施する。
- は種深度は２～３cm で設定している。

【は種時期】

- ９月上旬～中旬に実施する。

【温度管理】

- は種後は、30℃以上にならないよう遮光ネットで管理する。
- ハウスを閉め、15 ～ 20℃で管理する。

【かん水】

- 本葉４枚まで水を切り、その後７～ 10 日おきに実施。10 月いっぱいで打ち切りする。

【寒締め作業】

- 草丈 25cm 程度になったら、ハウス開放を開始する。
- 寒締め開始して、10 月いっぱいは日中のみのハウスを開放し（雨天時は閉める）、夜間は閉める。
- 11 月以降は、夜もハウスを開放するが、夜温 -10℃以下や強風時、降雪時は閉める。

【収穫作業】

- JA による糖度調査により８度以上になったら収穫を開始する。
- 日が昇り朝の凍り付きを緩めて、土壌に鎌が入るようになってから実施する。
- 収穫は１ハウス２週間かけてとる（労働力２名）。
- 鮮度保持袋に子葉のみ除去したものを３～４kg 分入れ、出荷する。JA の低温庫で１ヶ月保管後、１月中旬に加工業者へ出荷する。

取り組んだ経過や考え方

- 過去 10 年以上前、雹害により、たまねぎに被害が出た年に、経営補完作物として導入されたのがきっかけで、青果用の寒締めほうれんそうの作付けが始まった。
- JA では共選を行っていたが、人件費高騰による選果経費増により、作付面積が激減した。
- 令和４年度より、加工用冷凍食品仕向けに変更したことにより、収穫作業が軽減され、作付け生産者が復活し、面積が増加している。
- 加工用のため出荷規格が青果用よりも緩いため、葉折れ等も出荷ができ、収穫ロス率が低下し、収量性、収益性が向上した。
- たまねぎの育苗後、またはメロン後作として導入されており、ハウスが有効に活用されている。

消費者ニーズや販売先等

- JA きたみらいとホクレンとのコラボ商品として、本州方面へ出荷
- ルティン高含量であることを訴求し、機能性表示食品としてブランド化
- 高価格帯での高付加価値商品として販売

商品パッケージ
（画像：ホクレン農業協同組合連合会 HP より）

問い合わせ先

きたみらい農業協同組合　販売企画部野菜果実グループ
〒 090-0813 北見市中ノ島町１丁目１番８号　TEL：0157-33-3401

伏せ込みアスパラガス

比布町農業協同組合

【生産者事例：（有）菅原クリーンファーム（比布町）】

産地や産品の特徴

- １年半株を養成し、真冬に出荷。
- 取組約 20 年の大ベテラン。

耕種概要

- 経営形態：水稲＋施設野菜

【養成株ほ場】

- 露地面積：0.8ha
- 土質：褐色低地土
- 施肥：UF764　90kg/10a
  （N17、P16、K14kg/10a）、堆肥５t/10a
- 品種：大宝早生
- 畦幅、株間（10a 当たり株数）
  150cm × 35cm（1,904 株 /10a）
- マルチ：グリーンマルチ

【伏せ込み床】

- ハウス面積：間口 7.2m ×奥行 70m × １棟
- 土質（伏せ込み床）：購入堆肥のみ
- 施肥：収穫期間中は０kg/10a
- 品種：大宝早生

収量や品質の目標

- 12 月上旬～３月中旬出荷 200 ～ 300kg/10a

栽培カレンダー

伏せ込みアスパラガス（1.5 年株）

月	7			8			9～翌年10月	11			12			1			2			3		
旬	上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業	●……	●……	……	▲……	……	……	……	……	△……	△……	□……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	□

は種：●、定植：▲、株掘上：△、収穫：□

ハウスの仕様

ハウス外観
天張り：農 PO（0.05mm）

- 内張 1 重・カーテン
  農 PO（0.075mm）
- 伏せ込み床：枠板使用、高さ 45cm

トンネル：農 PO（0.07mm）
電熱線：サーモ利用

温風暖房機（厳寒時使用）

生育状況

萌芽始（11 月下旬）

収穫直前（11 月下旬）

病害虫対策

【養成株ほ場】

- 病害：斑点病、
- 虫害：アザミウマ類、ジュウシホシクビナガハムシ

【伏せ込み床】

- 耕種的防除：雑草防除
- 化学的防除：なし

栽培や作業のポイント

- は種は、128 穴セルトレイを使用し、30 日間育苗する。
- 定植ほ場は、25cm 程度の高畦マルチ栽培とし、マルチ下にかん水チューブを設置する。
- 定植後は、茎葉の倒伏防止対策と病害虫防除を徹底する。
- 融雪後、萌芽前に茎葉残渣を整理する。また、萌芽前に春施肥（N10、P0、K10kg/10a）を行う。
- 株の掘り取りは、降雪前に専用機で掘り取り、伏せ込み時まで乾燥しないようにシート等で被覆保管し、伏せ込みの準備を行う。
- 伏せ込み床に電熱線を設置し、床土を広げる。
- 伏せ込みは、端からすき間を空けずに 1 株ずつ詰めて入れていく。株を並べ終えたら、株の上に暑さ 5cm 程度覆土する。
- 地温（地表下 15cm 程度）は、15 ～ 18℃、最低気温は若茎の凍害防止のため、5 ～ 10℃程度に保温する。
- 加温開始後 2 ～ 3 週間で収穫が始まり、規格内若茎が萌芽しなくなるまで、収穫する。

冬の栽培に取り組んだ経過や考え方

- ハウスの効率的利用を考え、土耕で軟白みつばを栽培していたが、12月の出荷時期を過ぎると仕事がなくなることから、伏せ込みアスパラガスを導入した。
- 伏せ込みアスパラガス導入により、次のような経営を実践している。
  ・２月下旬にだいこんをは種（ハウス）し、５月中旬から出荷。
  ・メロンを６月上旬～中旬に定植し、８月下旬～９月下旬まで出荷。
  ・水稲収穫後、アスパラガスを伏せ込み、冬期間に出荷。

消費者ニーズや販売先等

- 農協を経由し、札幌や旭川市場を通じて、デパートやスーパーマーケットなどに出荷
- 比布町のふるさと納税返礼品（令和５年～）

旭川市内での販売状況

出荷時の状況

問い合わせ先

比布町農業協同組合　営農販売課

〒078-0342 上川郡比布町西町３丁目５番14号　TEL：0166-85-3116

伏せ込みアスパラガス

美幌町農業協同組合

【生産者事例：平岡農園（美幌町）】

産地や産品の特徴

- 国産アスパラガスの端境期出荷を狙った超高級アスパラガスとしてブランド化

耕種概要

- 経営形態　畑作＋施設野菜

【養成株ほ場】（美幌みらい農業センターにて一括管理）

- 露地面積：2ha（定植１年目、２年目）
- 施肥：N30kg、P33.8kg、K22.5kg
- 畦幅、株間（10a 当たり株数）：150cm × 38cm（1,754 株 /10a）
- マルチ：ダークグリーン
- 定植日：６月下旬
- 育苗様式：7.5cm ポット苗（購入苗（288 穴セル苗）を鉢上し育苗）
- 掘り取り時期：11 月上旬

【伏せ込み床】

- ハウス面積：間口 7.2m ×奥行 50m ×１棟、２ベッド、26 坪
- 施肥：UF764　10kg/26 坪
  （伏せ込み床設置前に床に施用後ロータリー攪拌）
- 品種：大宝早生
- 栽植株数：伏せ込み床あたり、3,600 株
  （35 ～ 44 株 / ㎡を目安に伏せ込み）
- 伏せ込み時期：11 月上旬

収量や品質の目標

- 11 月下旬～１月下旬出荷　200 ～ 300kg/10a
  （事例調査ほ場は 12 月まで）
- 2L、L 中心規格目標とし、長さ 24cm に調整、１束 100g 出荷
- 空洞、穂先の開きがなく、袴の色が良いもの

栽培カレンダー

伏せ込みアスパラガス（1.5 年株）

月	6			7			8			9～	11			12			1			2			3		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	翌年 10 月	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業	●			▲									△			□							□		

購入苗鉢上げ：●、定植：▲、根株堀上、伏せ込み：△、収穫：□

ハウスの仕様

ハウス外観
天張り：農 PO（0.15mm）
てんさい育苗ハウスを利用

２重ハウス　農 PO（0.08mm）
伏せ込み床、てんさい用カコム
（幅 45cm、長さ 1.8m、厚さ 10cm）
床の幅 120cm で枠組み

トンネル
電熱線は根株鱗芽郡付近に沿うよう、
伏せ込み床横方向に蛇行させて設置

電熱線による伏せ込み床の加温

生育状況（伏せ込み床）

伏せ込みの様子

収穫直前のほ場

病害虫対策

【根株養成ほ場】

- 病害：斑点病、茎枯病、さび病
- 虫害：ジュウシホシクビナガハムシ

【伏せ込み床】

- 特になし

栽培や作業のポイント

【根株養成ほ場】

- 収量は根株の生育状況、株の大きさに影響するため、養成期間を十分に確保できるよう、１年半養成法を導入している。
- 根株の休眠打破を促すには、掘り取り時期は、５℃以下の低温遭遇時間により決まるため、出荷時期は気象条件に左右される。
- 健全な根株を養成するためには、病害虫対策が重要であり、特に茎枯病は根株養成に甚大な被害を与えていることから、適正輪作による安定的な根株供給が求められる。

【伏せ込み床】

- 伏せ込み後の馴化
- 水をたっぷりうったあと、伏せ込み後５日間はハウスを開放し、温度を急に高めないようにする。ホワイトシルバーで被覆し温度上昇を抑制することも有効である。馴化後、トンネルで蒸し込み、ホワイトシルバーは萌芽が２～３割してきたところで除去する。

【温度管理】

- 事例調査ほ場では、萌芽の促進のために電熱線を 20℃設定としている。萌芽が前進するため、収穫は 12 月いっぱいで終了となる。一方、地温は 10℃、15℃、18℃、20℃と徐々に上げることで、吸収根の発根が促され、後半の収穫量を失速させることなく、60 ～ 70 日間収穫することも可能である。
- 萌芽後、晴天時にはトンネルを開放して、光にあてる。

【かん水】

- 萌芽し始めてから３～４日毎に実施する。

【収穫までの気象条件】

- 伏せ込み後、晴天が続けばハウスも温まり、２週間強で収穫が可能となる。曇天が続く場合は、４週間程度は要する。

冬の栽培に取り組んだ経過や考え方

- 美幌町の取り組みとして、平成 22 年に北海道大学との研究協定により、美幌町みらい農業センターで試験栽培を実施したことがきっかけとなり、平成 24 年より生産者ほ場で伏せ込み栽培を開始。
- 冬期間の農業所得、施設の有効利用、また、露地アスパラ、ハウス立茎栽培とあわせた全作型導入を達成させることによる産地力向上をコンセプトとしている。
- 美幌町は全作型持っていることのブランド力、唯一無二というところに情熱を持って、一肌脱いてくれている農家がいることで取り組んでおり、産地として確立されている。
- 産地として維持していくためには、安定的に根株を供給することが必要であり、適正輪作可能な根株栽培ほ場の面積確保が課題となっている。

消費者ニーズや販売先等

- ふるさと納税返礼品
- 札幌市内デパート地下食品売り場
- 高級ホテル
- 「冬姫」ブランドで出荷、高単価での取引を実現
- 「冬姫」の名称は美幌町が公募により選定し、町が商標登録を行い、ブランド化を推進。

画像：JA びほろ HP より

その他

- 新規就農者の高収益作物としてアスパラを位置づけている。

問い合わせ先

美幌町農業協同組合　販売部青果課

〒 092-8651 網走郡美幌町字青山南 30 番地 1　TEL：0152-72-1117

美幌町経済部みらい農業課（美幌みらい農業センター）

〒 092-0030 網走郡美幌町美富 29 番地　TEL：0152-75-2324

冬の畑のニュースター

HOKKAIDO WINTER

北の新顔冬野菜

「新顔冬野菜産地事例集」

令和７年（2025 年）３月発行

編集　北海道農政部生産振興局農産振興課
〒060-8588
北海道札幌市中央区北３条西６丁目
TEL　011-204-5436（直通）
FAX　011-232-4132